

利用ソフトウェア	Ulead VideoStudio		
授業名	マルチメディア表現	名前	湯川 治敏

本ソフトウェアはいわゆるビデオ編集ソフトである。WindowsXPではMovieメーカーというバンドルソフトがあったが、Vistaの場合は全てのバージョンにムービーメーカーがバンドルされている訳では無くなった。これに替わるソフトとしてあるいはムービーメーカーの機能では十分ではないと判断されたためかは判らないが、いずれにせよ実習室環境におけるビデオ編集についてはこのソフトを使うことになるのだろう。特徴としては「クイックDVDウィザード」「おまかせモード」「VideoStudio」の大きく3つのモードに分かれており、前者2つによって手軽にビデオや静止画等のコンテンツからDVDを作ることが出来る。しかし、授業で扱うにはあまりに単純すぎるので実際に利用する場合は「VideoStudio」モードがほとんどであろう。VideoStudioモードでは順に「キャプチャ」「編集」「エフェクト」「タイトル挿入」「オーディオ編集」「ファイル、DVDへの書き出し」等ビデオ編集ソフトとしては一通りのことが出来る。キャプチャではDVDや新しいビデオフォーマットであるAVCHDが利用できるようになり、Hi-Vision対応になっていることは良いと思うが今時の編集ソフトなので当然といえる。編集機能としてもWindowsムー

ビーメーカーと比較して特筆すべき機能は特にあるとは思えない。あえて挙げるならばビデオの逆再生が出来ることくらいであろう。ビデオクリップのトリミングが出来るのは当たり前であるが可能なのはオリジナルの画角での時間的なトリミングだけであって画面の一部を指定して画角の連続的なトリミングが出来るわけではない。比較的安価なビデオ編集ソフトにそれ程高い機能を要求するのは酷かも知れないが、ちなみにAppleのiMovieというビデオ編集ソフトは他のiPhoto、GrageBand,iWeb,iDVDという写真管理や音楽編集、Web Publishing、DVD編集ソフトを含めほぼ同じ金額であるがこのソフトよりは高機能でよほど使いやすいという印象を持っており、画角のトリミングも出来る。例えばFinalCutProというような映像のプロが利用するような非常に高価なソフトと比較するつもりはないが比較的安価だとしてもWindowsのバンドルソフトとあまり機能的に変わらないようでは少し物足りない。そもそもWindowsでマルチメディア系の授業をするにはソフトの面からも無理なのかかも知れない。これを機にマルチメディア系の実習室だけでもMacへの移行を検討していただきたい。



図1：Ulead Video Studioの編集画面